

# 横浜町コミュニティ・スクール便り『夢をはぐくむ』

第7号 令和8年3月 横浜町学校運営協議会事務局

年度末はやはりこのテーマで！

今年度第3回横浜町学校運営協議会が3月23日に行われました。忙しいこの時期、特に学校関係者は間違いなく大変なので、計画上は4月に行う年度最初の協議会を事務局方針で3月に前倒して行うことにしています。年度最後の会が、次年度最初の会を兼ねる形です。(横浜方式?)

今回のテーマは、昨年度の第3回と同じで、

## 次年度の横浜小学校・横浜中学校に期待したいこと・お願いしたいこと

です。今年度1年間、各委員が様々な形で学校教育に関わり子どもの姿を見てきたことを踏まえた上で、次年度の学校に期待したいことやお願いしたいことを出し合うことは、委員として参加する校長先生にとっても「地域の方々はこういうことを求めているんだな」とか「このことについては学校教職員にしっかり伝えておかなければ」など心に響くものがあったと思います。ただし、勘違いを避けるべく協議冒頭教育長から、意見は学校を縛ったり責めたりする目的は否との話をさせていただきました。

協議は前回に続き、ブレインストーミングによる「熟議」スタイルで行いました。ファシリテーターはまたしても教育長でした(笑)。 下の画像 (左)協議会風景/(右)貼られた各委員の意見



今回の協議は「学校」を Whiteboard の中心に据え、「教員」「子ども」「保護者」「地域」といった関連項目を周囲に置き、各委員は自分なりの意見がどの位置付けかを考えて貼っていき、全員が貼った後に、説明を行っていくという流れでした。進行役とファシリテーターが、各意見を矢印線で関係付けたり、問い返したり、集約したりして進めていきました。

今回、「学校への期待」というテーマから、子どもへの関わり方が主題となると予想していましたが、出された意見の多くは「大人同士の関係性に課題あり！」というものでした。「子どもや学校について言う前に、大人の問題こそ改善する必要あり！」というものでした。それでは以下に、今回の協議を通じ明らかになった視点を挙げてみます。

- ◎ 大人に課題あり。地域・子ども・学校のために、大人同士の連携・協力がもっと必要
- ◎ 教職員も保護者も家族も地域の大人も「心の安定」が子どもの成長にとってとても重要
- ◎ 地域みんなでもっともっと子どもの話を聞き、どの子も認め、共感する町になっていきたい
- ◎ 子ども時代、学校でも地域でも夢中になれることや挑戦したいことをたくさんやらせるべき
- ◎ 学校内と学校外での子どものあいさつにギャップあり。地域の大人もあいさつをがんばろう
- ◎ 小さな出来事やゲーム、SNSでの関係がいじめにつながる時代。みんなで気を付けたい

今回「学校」がメインテーマだったにもかかわらず、視点が「大人の在り方」になっていきました。「大人が自ら変えなければ、変わらなければならないことは何か」・各自考えていきましょう！